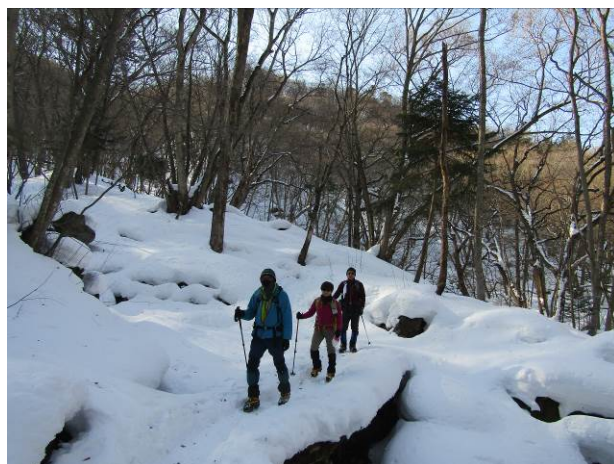


## スッカン沢山行報告

**【山行日】**2022年 2月 27(日) 晴れ  
**【集 合】**栃木市運動公園 P AM 7:00  
**【費 用】**マイカー1台 : 2,300円  
**【メンバー】**CL:鈴木、SL:齊藤、石澤、廣瀬  
**【コースタイム】**栃木市運動公園 P7:00=山の駅「たかはら」8:00/8:20~雷霆の滝 9:05/9:15~咆哮霹靂の滝 9:30/9:40~スッカン橋 9:50/10:00~雄飛滝 10:10/10:20~スッカン橋 10:30/11:45~雷霆の滝 11:00/11:05~山の駅「たかはら」12:00/13:00=道の駅「やいた」13:30/13:40=栃木市運動公園 P14:40



今日は安達太良山へ登る予定だったが、低気圧と前線が通過する影響で昼過ぎから天気が悪くなる予報で断念した。どの山域も稜線上は強風で大荒れの様相で、代替山行として風の影響が少



ないスッカン沢を計画し、昼頃までに戻り山の駅「たかはら」で昼食を食べる計画にする。

栃木市運動公園を7時に出発し、栃木 IC から東北道を北上して矢板 IC で降りる。途中、道の駅「やいた」でトイレを済ませて八方ヶ原に向かい、山の駅「たかはら」の駐車場に車を止める。今年は雪が多くて駐車スペースが狭く、車を止めるのに気をつかう。準備を整えたらストレッチを行い、アイゼンを付けて出発する。

トイレ脇の平坦な道を進み、しばらく行くと自然

林の中を緩やかに下るようになる。今日のコースは往路は下りで、復路が登りと通常の逆になる。

雪の斜面に木々の影が筋状に映り、とても幻想的で美しい光景が見られる。トレースはしっかり付いていて、アイゼンを効かせて快調に下って行く。桜沢に沿って右岸を歩くようになり、しばらく下ると雷霆の滝に着く。小休止して滝をバックに記念写真を撮り、水分を補給したら咆哮霹靂の滝に向かう。すぐ先で吊り橋を渡り、尾根を巻くように登ると雄飛滝への分岐に出て、直進して急坂を下ると咆哮霹靂の滝に着く。咆哮霹靂の滝はあまり凍って無く、皆さんも「フ〜ン」と言う反応で感動も無い。デコポンやチョコ



コレートを食べ、エネルギーを補給したら来た道に戻り雄飛滝へ向かった。分岐まで戻り、ここから雄飛滝へは通行禁止になっているが、自己責任で雄飛滝へ向かう。



崖に沿って急な道を下って行き、壊れかけた木の階段を慎重に降りて行く。降りた所から崖に氷瀑



群がシャンデリアのように連なり見事である。皆さんも「ウワ～凄い！！綺麗！！」と大感動。氷瀑群の下まで登り、写真を撮りまくっていた。いくつかの氷瀑群を楽しんだらスッカン橋を渡り、対岸を登り返して上流に向かい雄飛滝展望台に着く。ここからの氷瀑群も見事で、こちらは鋭いツララが放射状に下がっている。リンゴを食べながら氷瀑群の景色を楽しみ、記念写真を撮ったら来た道に戻る。途中、3名は氷瀑群を近くに見るため沢に降り、スマホのカメラに氷瀑を収めてきた。スッカン橋を渡って往路を戻り、分岐まで登り返して雷霆の滝で小休止する。ここから駐車場まで登りが続き、最後の1時間が一番きつい。途中から曇りになり風が強くなってきたが、駐車場に着くと風が収まり晴れてきた。アイゼンを外し靴を履き替えたら山の駅「たかはら」

に行き、レストランで昼食を食べることにする。メニューは少なくカツライスをオーダーしたが、ライスが3人分しか無く齊藤さんはうどんになってしまった。結構待たされてようやくカツライスが来たが、うどんは我々が食べ終わってから出てきた。食事中に天気が急変し、雪と風で吹雪のようになっていた。食事が済んだら車に乗って帰路につき、途中の道の駅「やいた」に寄ってお買い物。買い物が済んだら栃木市運動公園へ向かい、予定通り帰着し雪山山行が無事終了した。

